2026年10月19日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
10,795万kW
13時30分、107,948 MW
（10エリア同時刻合計）

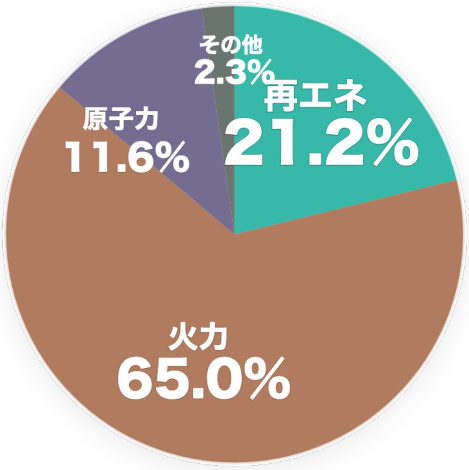
☀ 太陽光ピーク
3,018万kW
11時30分、30,178 MW
（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
274万kW
7時30分、2,740 MW

◇ 再エネ最大需要比
39.3%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
67.5 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
53.1 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 39.8%

30.6 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

34.5 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、13:00に3,476万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで39.8%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**21.2%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**458 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,165 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**39.3%**	12時
出力抑制量	**0.0 GWh**	最大: 北海道
揚水・蓄電の充電	**34.5 GWh**	発電構成比には含めない

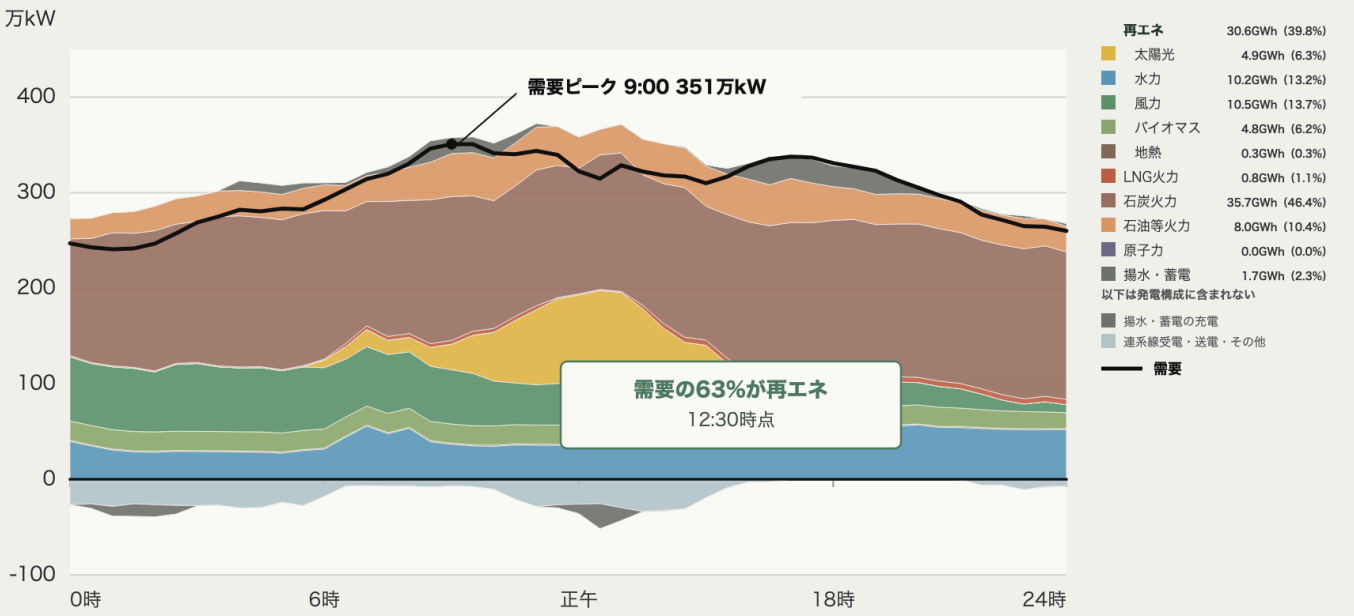
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**39.8%**	**30.6**	**0.0**	**送電 3.6**
東北	**29.2%**	**72.7**	**0.0**	**送電 53.1**
東京	**17.7%**	**110**	**0.0**	**受電 67.5**
中部	**22.1%**	**63.0**	**0.0**	**受電 43.6**
北陸	**30.9%**	**22.9**	**0.0**	**送電 8.2**
関西	**14.9%**	**47.9**	**0.0**	**受電 38.8**
中国	**15.4%**	**23.7**	**0.0**	**送電 6.2**
四国	**21.5%**	**20.7**	**0.0**	**送電 32.6**
九州	**24.3%**	**64.1**	**0.0**	**送電 29.3**
沖縄	**11.2%**	**3.1**	**0.0**	—

2026年10月19日の供給実績

北海道エリア

再エネ
30.6GWh
（発電電力量ベース39.8%）

北海道エリア 2026年10月19日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
76.8GWh

需要ピーク
9:00、351万kW

連系線・その他
3.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.5GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

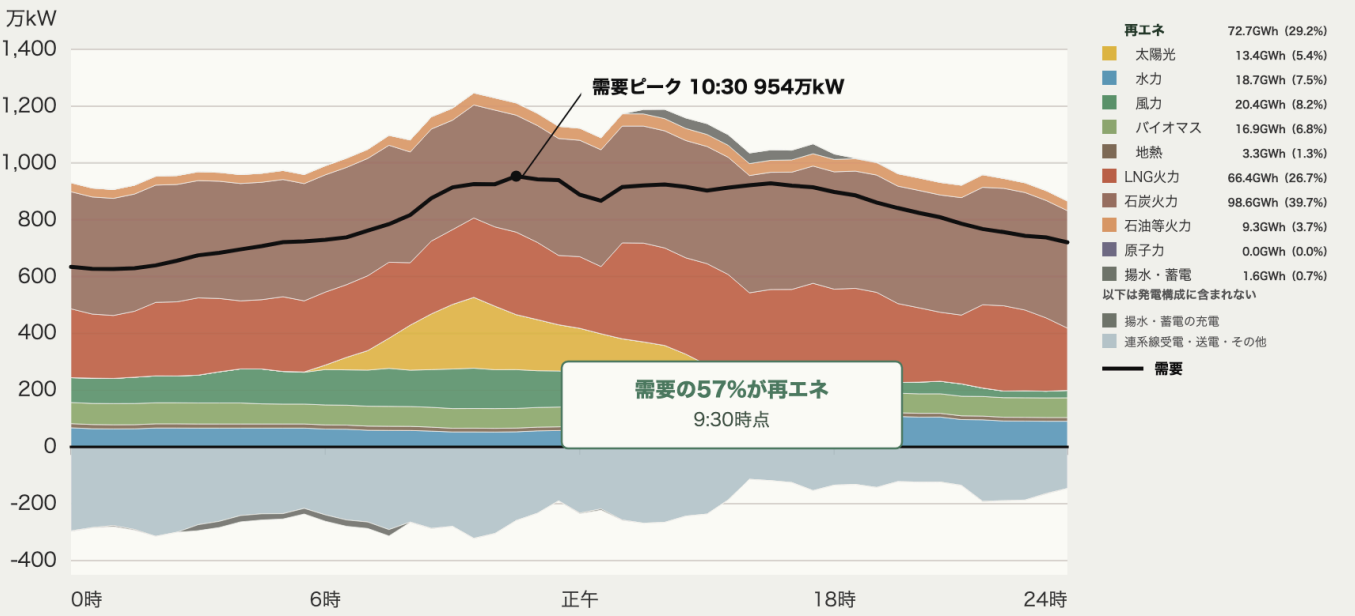
北海道は、太陽光ピーク96万kW、風力ピーク71万kWで、時間別の再エネ最大需要比は62.8%だった。

2026年10月19日の供給実績

東北エリア

再エネ
72.7GWh
（発電電力量ベース29.2%）

東北エリア 2026年10月19日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
248.6GWh

需要ピーク
10:30、954万kW

連系線・その他
53.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

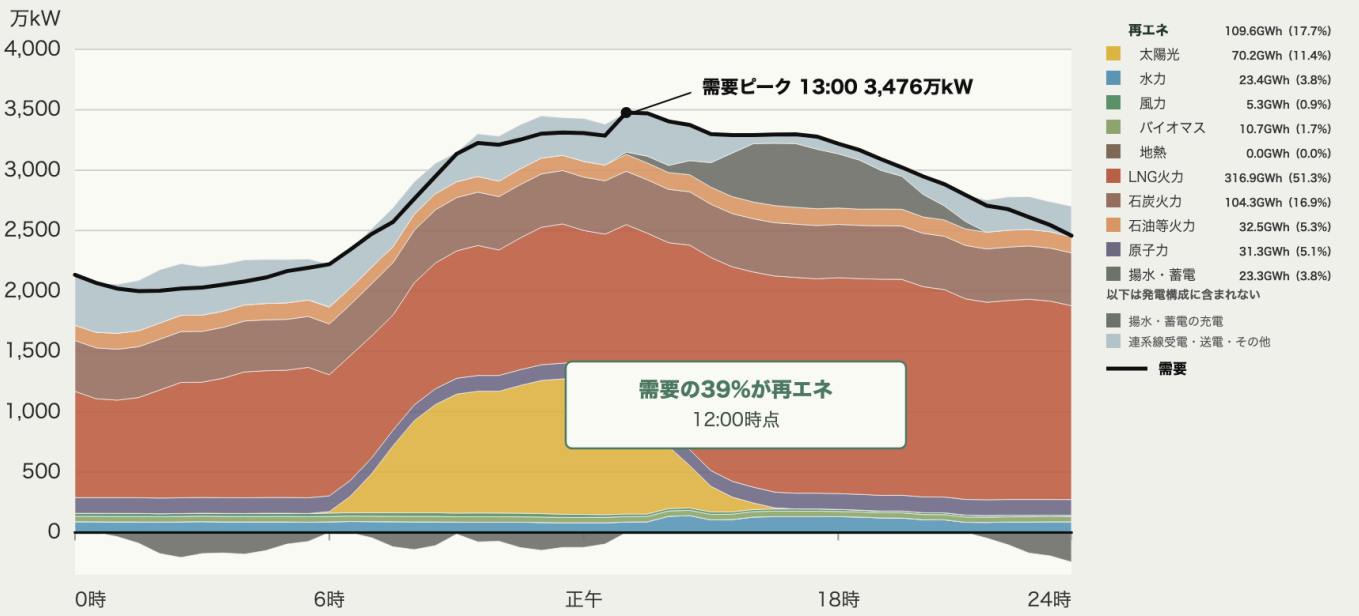
東北は、太陽光ピーク250万kW、風力ピーク142万kWで、時間別の再エネ最大需要比は57.0%だった。

2026年10月19日の供給実績

東京エリア

再エネ
109.7GWh
（発電電力量ベース17.7%）

東京エリア 2026年10月19日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
617.9GWh

需要ピーク
13:00、3,476万kW

連系線・その他
67.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電
16.4GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

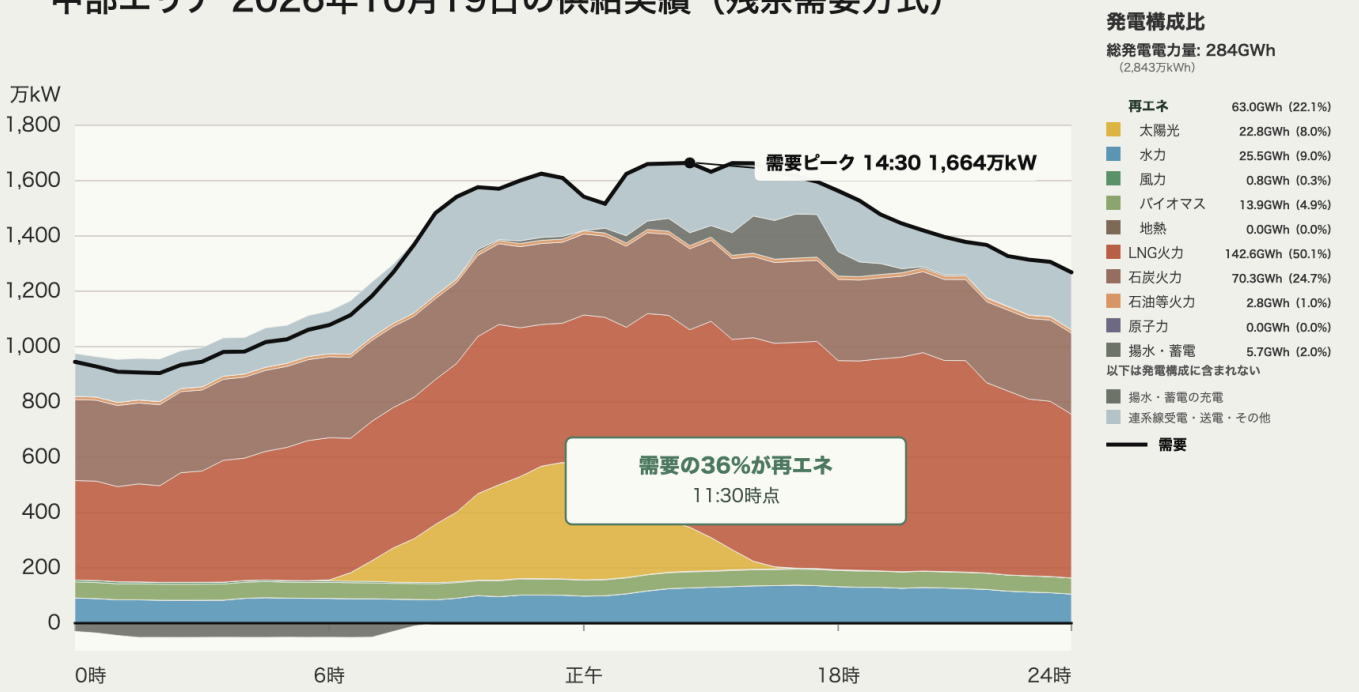
東京は、太陽光ピーク1,129万kW、風力ピーク32万kWで、時間別の再エネ最大需要比は38.7%だった。

2026年10月19日の供給実績

中部エリア

再エネ
63.0GWh
（発電電力量ベース22.1%）

中部エリア 2026年10月19日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
284.3GWh

需要ピーク
14:30、1,664万kW

連系線・その他
43.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電
3.8GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

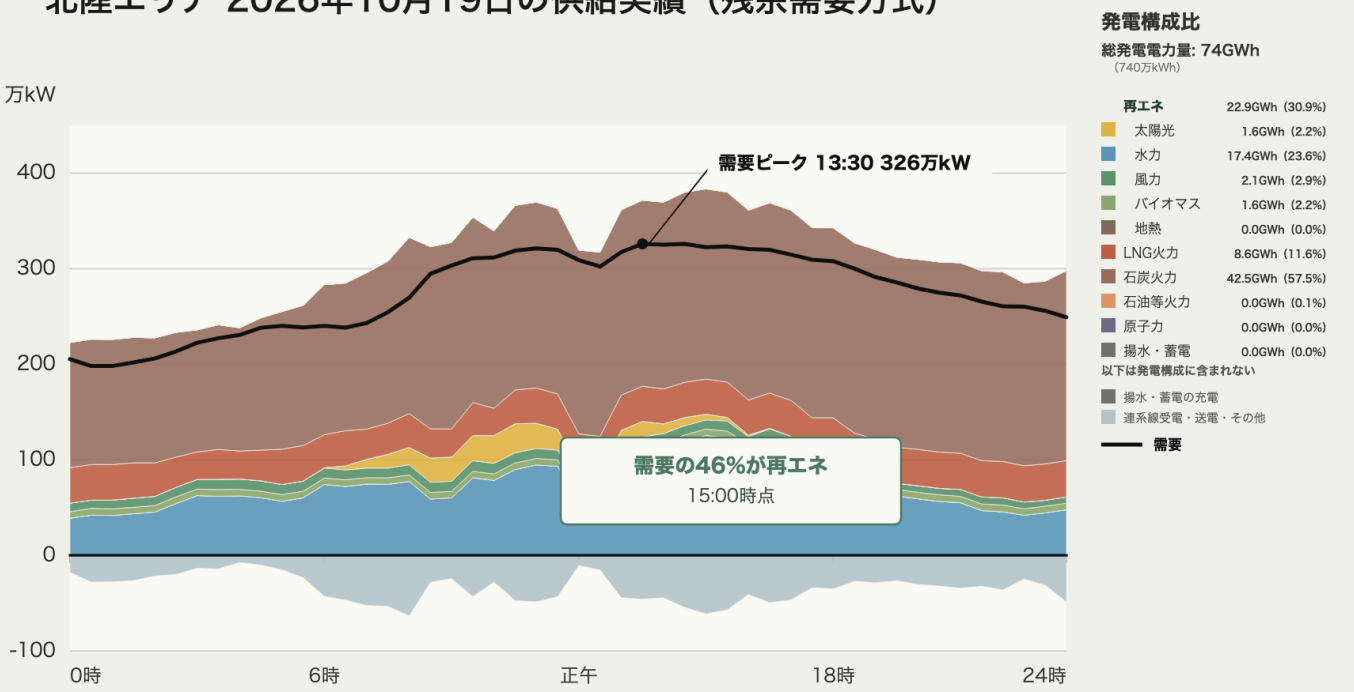
中部は、太陽光ピーク421万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は37.0%だった。

2026年10月19日の供給実績

北陸エリア

再エネ
22.9GWh
（発電電力量ベース30.9%）

北陸エリア 2026年10月19日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
74.0GWh

需要ピーク
13:30、326万kW

連系線・その他
8.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

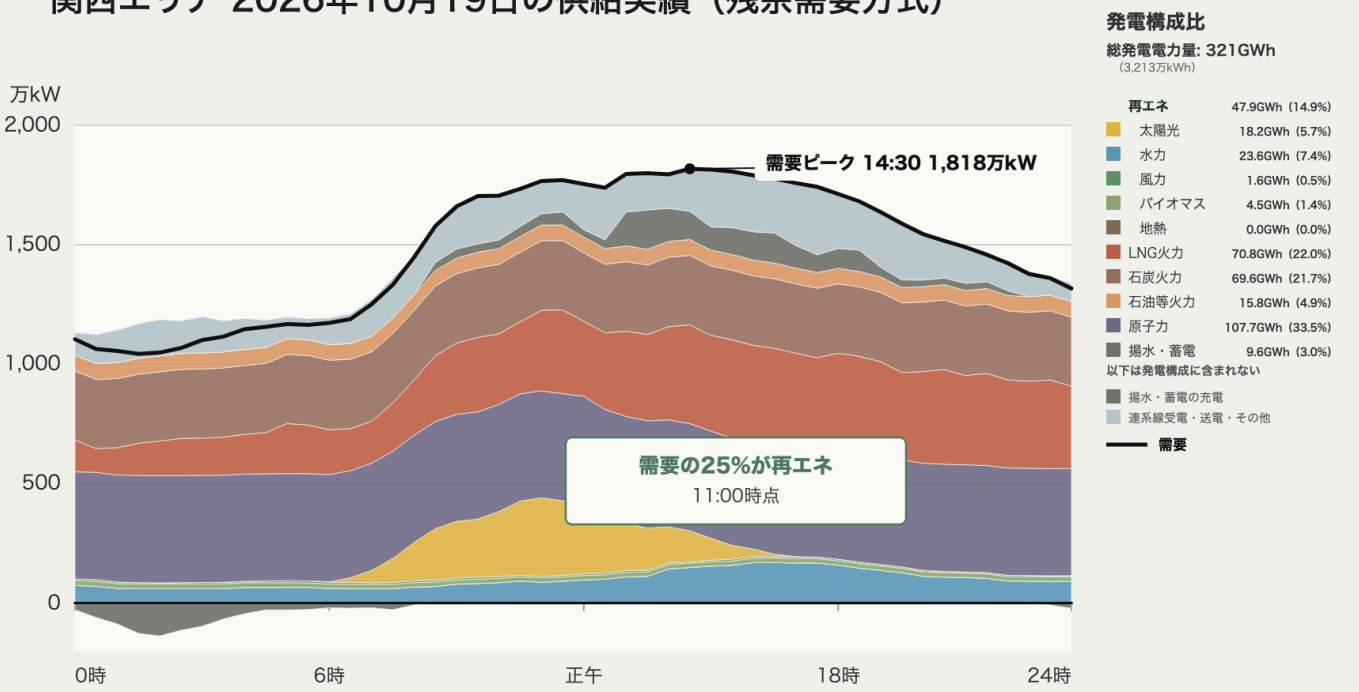
北陸は、太陽光ピーク30万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は45.8%だった。

2026年10月19日の供給実績

関西エリア

再エネ
47.9GWh
（発電電力量ベース14.9%）

関西エリア 2026年10月19日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
321.3GWh

需要ピーク
14:30、1,818万kW

連系線・その他
38.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
4.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

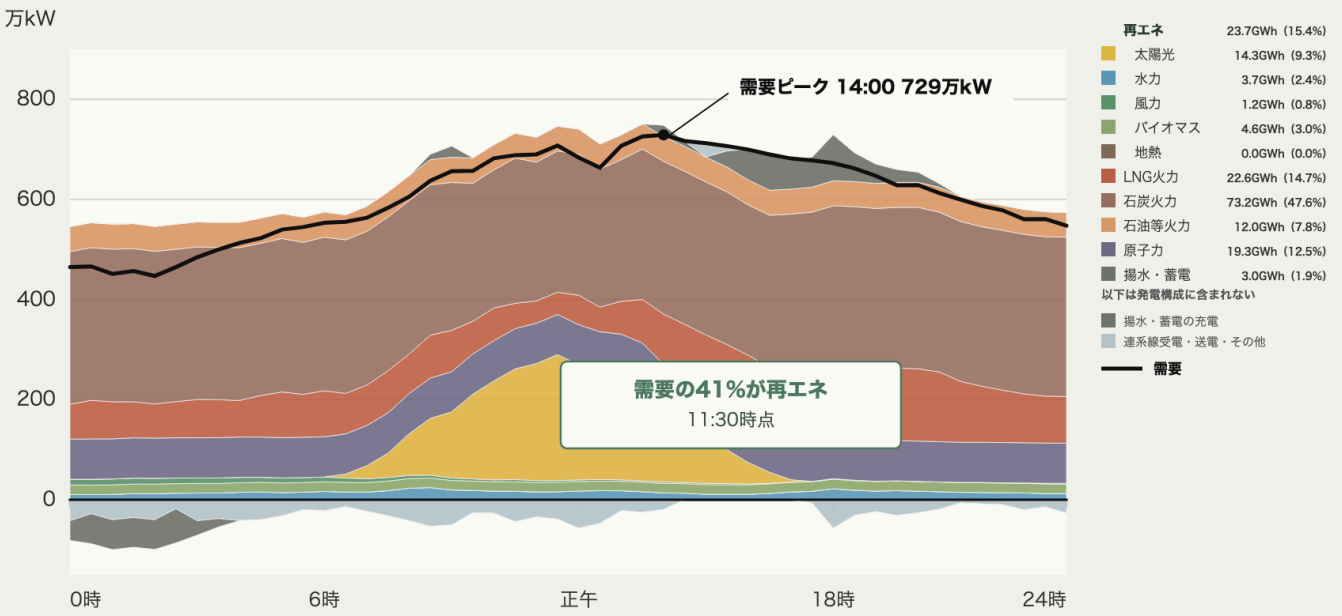
関西は、太陽光ピーク329万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は24.9%だった。

2026年10月19日の供給実績

中国エリア

再エネ
23.7GWh
（発電電力量ベース15.4%）

中国エリア 2026年10月19日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
153.7GWh

需要ピーク
14:00、729万kW

連系線・その他
6.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.9GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

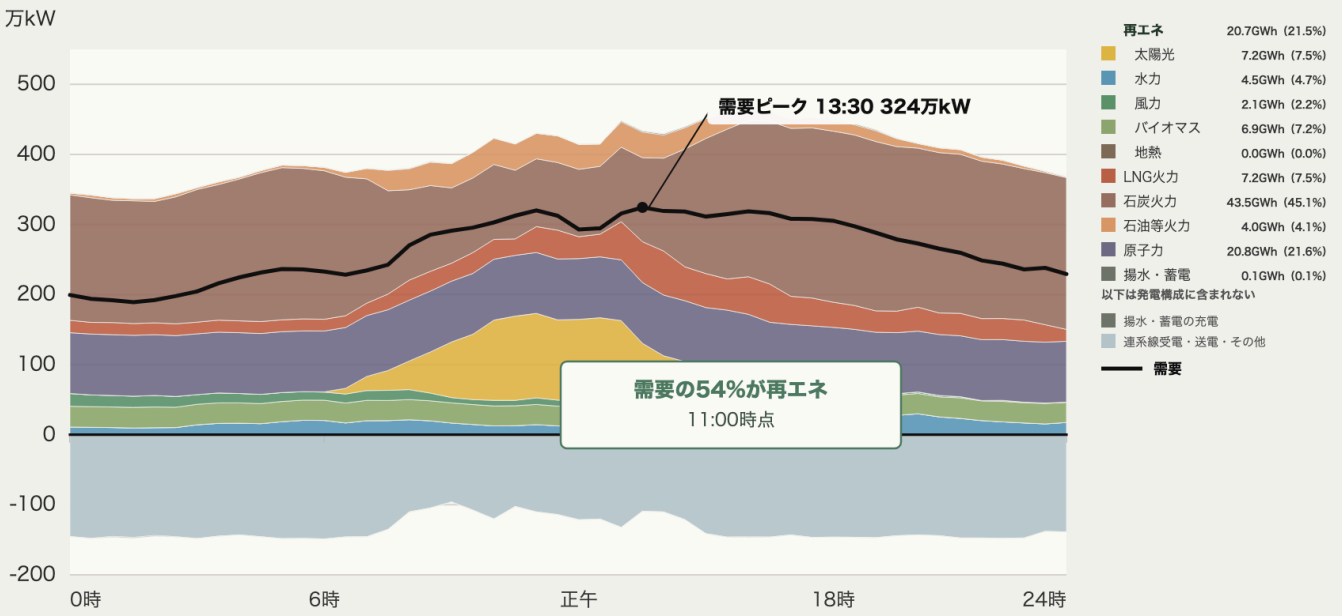
中国は、太陽光ピーク252万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は41.0%だった。

2026年10月19日の供給実績

四国エリア

再エネ
20.7GWh
（発電電力量ベース21.5%）

四国エリア 2026年10月19日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
96.3GWh

需要ピーク
13:30、324万kW

連系線・その他
32.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

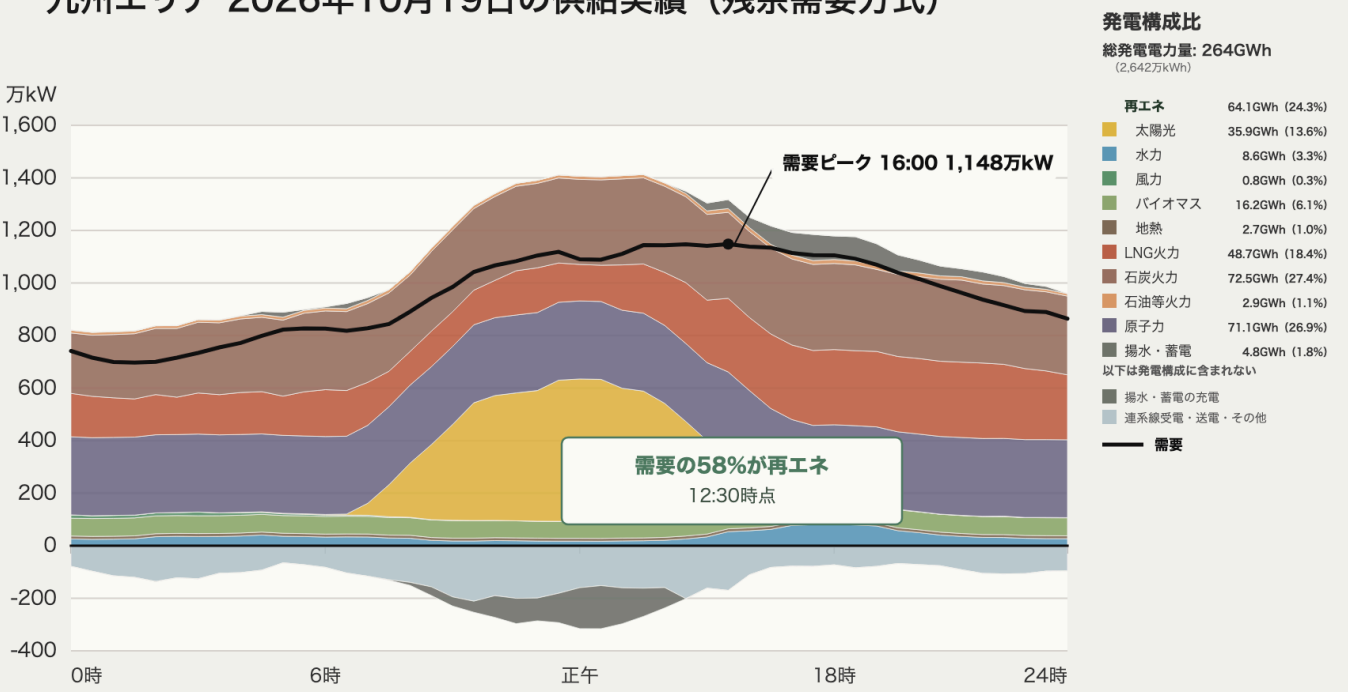
四国は、太陽光ピーク121万kW、風力ピーク18万kWで、時間別の再エネ最大需要比は56.7%だった。

2026年10月19日の供給実績

九州エリア

再エネ
64.1GWh
（発電電力量ベース24.3%）

九州エリア 2026年10月19日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
264.2GWh

需要ピーク
16:00、1,148万kW

連系線・その他
29.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
5.7GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

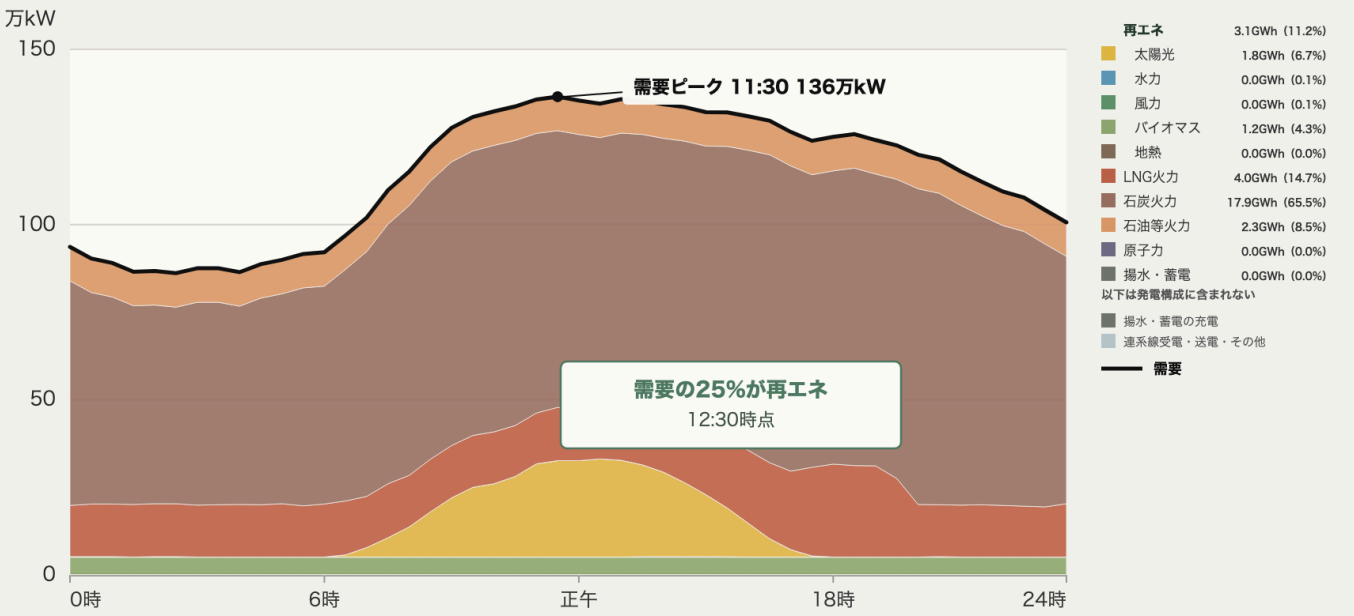
九州は、太陽光ピーク541万kW、風力ピーク14万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.2%だった。

2026年10月19日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
3.1GWh
（発電電力量ベース11.2%）

沖縄エリア 2026年10月19日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
27.3GWh

需要ピーク
11:30、136万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク28万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は24.6%だった。